



令和8年度 武生第六中学校スクールプラン

【校訓】 自主・鍛錬・実践

越前市教育方針【人間力を高める教育】

- 1 生命を尊び生きる喜びをもって、いかなる人とも等しく心をわかち合える人を育てる。
- 2 常に学ぶことと未来を拓く想像力を培い、正しい判断と確かな実践のできる人を育てる。
- 3 互いを敬愛し豊かな情操を養い、ともに働く楽しみと感謝・奉仕の精神にみちた人を育てる。
- 4 健全な食生活をもとに自らの健康と安全を保ち、強くたくましく生きぬく人を育てる。
- 5 郷土の伝統、文化、自然、人間に誇りをもち、広く社会に貢献できる人を育てる。

学校教育目標

確かな学力、豊かな心、健やかな心と体をそなえた生徒の育成

<研究主題>

自ら学び、自他を尊重し、対話を通して互いに認め合う生徒の育成

【めざす教師像】

- 1 教育のプロとして常に自己研鑽に励み時代に即した教育の実現を目指す教師
- 2 豊かな人間性と人権感覚を持つ教師
- 3 生徒・保護者・地域に信頼される教師
- 4 連携と協働を図る教師

重点目標

A「確かな学力」

- ◎ 自ら学ぶ意欲と態度の育成
- 学習課題への取り組み方の改善
- 読書・NIE活動の推進

B「豊かな心」

- ◎ 自己存在感を高め、夢や目標に向かう意欲の育成
- 人権と命を大切にする教育活動の推進

C「健やかな心と体」

- ◎ 健康教育の充実や安全教育の推進による、自他の命や安全を守る意識の高揚（危機管理意識を高める）
- 心の健康教育の推進

D「開かれ信頼される学校づくり」

- ◎ 家庭・地域・学校の連携・協力
- 地域貢献ができる生徒の育成を目指した地域と進める体験活動の推進

具体的な取組

- ① 目的を持ち、主体的に考えながら、学習課題（家庭学習を含む）に取り組む生徒の育成を図る。（自主ノート、AIドリル等の工夫と活用）
- ② 生徒が自己決定できる場面を多く取り入れ、教科特性に合わせたICTの活用を推進し、生徒自らが考える力を働かせる授業づくりに努める。
- ② 朝読書やデジタル新聞を活用し、本や新聞に親しみ、自身の考えを深める機会作りに努める。

- ① 自己決定の場を与えながら、学校行事、生徒会活動や学級活動等の充実を図る。また、夢や目標をもち、生き生きと活動する特色ある学校づくりを推進する。
- ② 安心して学校生活が送れるよう道徳教育や学級づくりの充実を図り、人権意識を高め、共感的人間関係を育成する。いじめ・不登校の未然予防、早期解決に努める。
- ③ 生徒が困り感を伝えられる機会を確保し、事案にはチームで対応する。関係機関とも連携し、早期対応に努める。

- ① 運動・食事・休養と健康との関わりについて学ぶ機会の充実を図り、規則正しい生活習慣や気力・体力の向上、アサーション（自他尊重の自己表現）・レジリエンス（立ち直り力）等の育成に努める。
- ② 安全教育を推進する。生徒自身が主体的に考え、危険予測・回避能力が身に付く指導を行う。（各種訓練、安全教室、情報モラルなど）
- ③ SNSの使い方を理解し、動画やゲームの時間を自らコントロールできる力を育成する。

- ① 学校公開や、お便り、Home & School、ホームページ等で学校活動を家庭、地域に発信する。
- ② 学校の伝統である大菊栽培を継承していく。たけふ菊人形への出品や公民館展示等、地域に貢献する。
- ③ 全学年でふるさと教育を計画的に実施し、PTA 協力のもと、地域での体験・ボランティア活動への参加を推進する。

数値目標

- ★話し合いに参加し、発表したり、質問したりして主体的に学習に取り組んでいると答える生徒 ⇒ 80%以上
- ★目的意識をもって授業や課題（家庭学習を含む）に取り組んでいると答える生徒 ⇒ 80%以上

- ★自分や仲間の良さを見つけながら、自分の役割や責任を果たしている生徒 ⇒ 80%以上
- ★人が嫌がるようなことをしたり言ったりしないよう気をつけて、友達と仲良くしている生徒 ⇒ 100%（いじめ解消100%）
- ★困ったことや悩みがあるときは相談する相手がいると答える生徒 ⇒ 90%以上

- ★約束を守ることや、自主的に行動することを意識して生活している生徒 ⇒ 80%以上
- ★体力の向上や心身の健康に気を配り、健康な生活を送るよう努めている生徒 ⇒ 90%以上
- ★交通安全や災害、SNS等の危険性を認識し、安全に生活を送るよう努めている生徒 ⇒ 80%以上

- ★Home&School やホームページで学校の様子がよくわかる保護者 ⇒ 80%以上
- ★学校と連携が取れていると答える保護者 ⇒ 80%以上
- ★地域に役立つことを考えることができたと答える生徒 ⇒ 80%以上

業務改善：Home&School や Teams を活用したDXによる業務の効率化。
部活動・会議等の適正な時間設定。校務分掌等の平準化。